

# 安全運転管理 ふくおか

創刊号  
Safety Driving & Traffic Education.

## 創刊号の内容

【テーマ】P8~9

企業の繁栄と安全運転管理

### 【連載スタート】

- ・安管事業所訪問
- ・安全運転フォトフラッシュ
- ・事故はこうして発生した

ほか



## 春の交通安全フェアin博多

交通事故をなくす福岡県県民運動本部【福岡県・福岡県警察・(一財)福岡県交通安全協会・福岡市ほか】博多区交通安全推進協議会 博多区 博多警察署 博多交通安全協会

見逃すな!  
飲酒運転

勇気を出して1番

交通安全フェアin博多

Kaz





石川善章消防士長(写真左)と立石和行警防課長

**交通事故防止に取り組み  
市民の生命・身体・財産を守る**

筑紫野太宰府消防組合消防本部

筑紫野太宰府消防組合消防本部は、筑紫野市と太宰府市の2市を管轄し、昭和40年4月1日に消防本部政令指定を受け、以来50年が経過しています。

募集し、出動経路上の掲示板にスローガンを掲示し、毎朝勤務交替時に館内一斉放送でスローガンをアナウンスしています。

非番勤務者から当務勤務者への引継ぎを行っています。また、アルコールチエッカーによる飲酒抜き打ち検査を実施しています。

ターを有し、平成11年3月には太宰府インターと福岡都市高速道路が直結し、管内と福岡都心との交通網が整備されるなど、九州の交通の要衝地となっています。

また、消防用車両等の安全運転を確保するため、具体的な安全運転基準を定めて交通事故防止の徹底を図り、消防業務の円滑な推進を図ることを目的とする安全運転マニュアルを策定しています。さらに、安全運転に係る危険

加利福尼亞

各種の安全活動で  
安全意識の向上を図る

同消防本部は、緊急自動車の事故防

運転に努めるため、さまざまな安全対策を講じています。

職員の安全意識の向上を図るために、1月から12月のスローガンを職員から

**交代時の安全確認及び  
車両の点検・清掃を徹底**

勤務は24時間の3交代制であることから、朝礼の勤務交代時には運転免許証の携帯確認及び有効期限確認を行い車両運行前に毎日車両点検を実施し、

両清掃を実施しています。これは消防職員の必須項目である「器具の愛護」によるものです。常に道具に気を使い、いつでも最高のパフォーマンスを發揮できるようにしておくことが大切なのです。消防車両を清掃することで、小さい不具合を事前に発見したり、修理

職員数…148名  
車両台数…34台(緊急自動車24台)

することができます。

## 運転時は同乗者全員で 安全を確認



交代時に運転免許証を確認



一斉に行われる車両点検



構内で実施される緊急自動車実技訓練

認を徹底させ、常日頃から安全呼称・指さし確認を実践しています。

## 自動車安全運転競技大会に 3年連続の団体優勝

緊急自動車の運転については、日頃から安全指導を行うとともに、安全運転に関する知識及び技能に関する訓練を行い、基本的な運転技術や安全確認等を再確認しています。

具体的な指導としては、消防車や救急車等の緊急自動車は、乗用車と形状が異なることから、多くの死角が存在します。このため、当消防本部では運転者だけではなく、二つ目の「目」として、同乗者の隊員全員による安全確

同消防本部は、筑紫安全運転管理協議会の役員事業所として積極的に活動を実施しています。当協議会では、毎年秋の交通安全県民運動の一環として、「自動車安全運転競技大会」を開催しています。昨年の大会には、各事業所から1チーム3名、25チーム75名が参加して安全運転を目指した結果、同消防本部は2年連続で団体の部の優勝を達成し、個人の部でも優勝と3位入賞

しました。

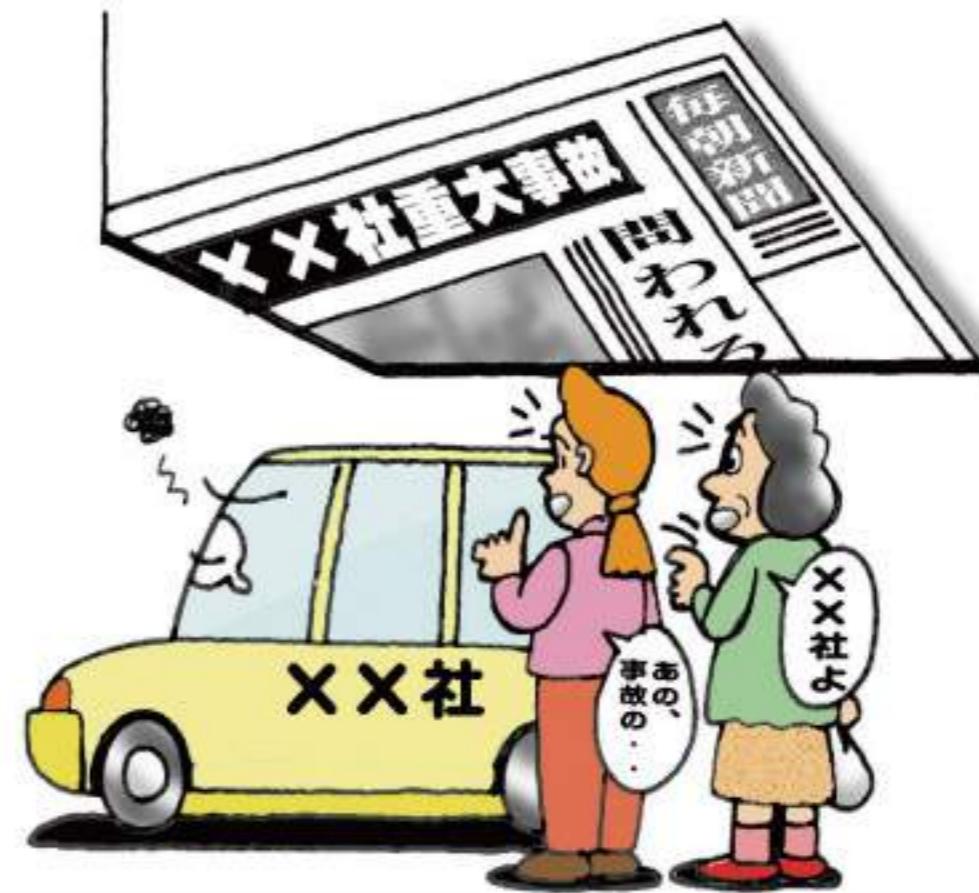
このような安全運転管理の取組みが評価され、平成27年度には全日本交通安全協会より交通安全優良事業所として全国表彰を受けることができました。今後も、この受賞に恥じないよう交通事故防止に取り組み、市民の生命・身体・財産を守り、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指して、全職員一丸となり日夜邁進していきます。

を果たしています。

また、同協議会が福岡県警察本部の後援を受け、12月から翌年1月にかけて実施する交通事故防止コンクールに参加し、3年連続で優良事業所を受賞

# 企業の繁栄と安全運転管理

安全運転管理とリスクマネジメント



1件の交通事故によって長年積み重ねてきた企業の信用が失われ、社会的な非難を浴びることがあります。リスクマネジメントの視点から安全運転管理を見直す必要があります。

近年、日本は地震、洪水、火山噴火などの自然災害に見舞われ、改めて危機管理＝リスクマネジメントが重要な課題であると認識されています。

企業としては、こうした自然災害に対するリスク管理も重要ですが、実は日常的にもっとも発生頻度が高いリスクは交通事故なのです。それにも関わらず、事業主や安全運転管理者の中には、交通事故に対するリスクマネジメントの意識が高くないのが実情です。

平成27年中の全国の交通事故発生件数は60万件を超えていました。これを1日平均でみると1,700件強の発生となり、50秒に1件の割合で交通事故が発生していることになります。また死傷者数みると、2時間に1人が死亡し、40秒に1人が負傷していることになります。これは火災などの発生頻度と比べると、かなり高いリスクだと言えます。

交通事故を起こせば、運転者だけでなく、企業にも刑事责任、行政責任、民事責任、そして社会的責任を果たすことが求められています。

4つの責任の中でも、もっとも重いのは民事責任、すなわち損害を与えた相手に対する損害賠償責任です。企業に賠償責任が負わされれば、場合によつては企業の健全な経営を脅かす要因ともなります。

2012年、ワゴン車を暴走させ運転者を含む8名が死亡、12人が重軽傷を負った交通事故では、事故後、従業員の勤務先の会社が、信用不安などにより急速な経営難に見舞われ、業績回復の見通しが立たなくなつたため、自己破産するに至っています。

このように企業規模が小さい会社では、1件の交通事故が企業の命運を左右することは珍しくないのです。

先行きが不透明な時代にあって「少しでもマイナス（交通事故）を減らす」とが、企業のマネジメントの課題と言えます。安全運転管理をリスクマネジメントの最優先課題として捉え、積極的に交通事故防止に取り組みましょう。

**重い損害賠償責任**

交通事故による損害には、大きく分けて直接損害と間接損害の2つがあります。直接的な損害として挙げられるの

**交通事故はもつとも頻度が高いリスク**

**企業経営を圧迫する交通事故が**



### 直接損害

- 死傷した運転者等の治療費、葬儀費
- 被害者への慰謝料、逸失利益の賠償
- 事故車の修理費
- 損壊した建物、信号機等の道路施設
- 相手車両の積載物の弁済費用

### 間接損害

- 企業のイメージダウン
- 社会的信用の失墜
- 示談交渉等の労力、費用
- 運転者の負傷等による労働力低下
- 従業員の士気の低下

### 対人事故に関する高額賠償判決例

認定総損害額	判決日	裁判所	被害者	被害様態
5億2,853万円	平23.11.1	横浜地裁	男41歳/眼科開業医	死亡
3億9,725万円	平23.12.27	横浜地裁	男21歳/大学生	後遺障害
3億9,510万円	平23.2.18	名古屋地裁	男20歳/大学生	後遺障害
3億8,281万円	平17.5.17	名古屋地裁	男29歳/会社員	後遺障害
3億7,886万円	平19.4.10	大阪地裁	男23歳/会社員	後遺障害
3億6,750万円	平18.6.21	大阪地裁	男38歳/開業医	死亡
3億6,551万円	平21.11.17	仙台地裁	男14歳/中学生	後遺障害
3億5,978万円	平16.6.29	東京地裁	男25歳/大学研究科在籍	後遺障害
3億5,618万円	平24.3.16	名古屋地裁	男25歳/美容室店長	後遺障害
3億5,332万円	平18.9.27	千葉地裁	男37歳/アルバイト	後遺障害

(参考) 損害保険料率算出機構「自動車保険の概況 平成26年度版」をもとに作成  
注 認定総損害額とは、被害者の総損害額(弁護士費用を含む)をいい、被害者の過失相殺相当額あるいは自賠責保険等で支払われた金額を控除する前の金額です。

は、被害者に対する損害賠償や入院治療費、車両の修理費などです。

一方、間接的な損害としては、運転者の労働能力の喪失や事故処理関係の費用、企業のイメージダウンなどがあります。これらは目には見えないことから意識されにくいと言えますが、企業にとつては大きなダメージとなります。交通事故による損害を考える場合は、直接的な損害だけでなく、間接的な損害を見逃さないようにする必要があります。

### 保険でカバーできない損害がある

交通事故により発生したすべての損害

を保険でカバーすることはできません。「保険に入っているから」と事故防止対策を講じないのであれば経営者（管理者）失格と言われても仕方ありません。

交通事故が発生して保険金の支払いが一定の額を超えると、保険の割引率が低下して保険料がアップします。一度保険料が上がると、割引率は容易に回復はないのです。

### 企業の繁栄は安全運転管理から

飲酒運転や悪質な違反による事故がマスコミ等に取り上げられれば、企業イメージは大きく低下します。そして、一度

事業主及び安全運転管理者の皆さんは、効果的な安全運転管理をすすめていくためにも、現状を総点検し、事業所全体の安全運転管理を見直しましょう。安全運転管理を積極的に推進することが交通事故を防ぎ、ひいては企業の繁栄に結びつくことを理解してください。

失った信用は容易に取り戻すことはできません。反対に、交通事故がなく積極的な安全運転施策を推進している場合、「安全な会社」というイメージが高まり、地域からの信頼を得ることができ、それが運転者の意識を高めることに結びつくといった好循環を招きます。

## ▶状況説明

片側1車線の道路を走行しています。対向車線が渋滞し、  
ゴー・ストップを繰り返しています。自車はこのまま直進し  
ていきたいのですが……。



### 主な 危険ポイント

- ① 対向車の間から横断してきた歩行者と衝突する。
- ② 歩行者を避けようとして急停止したとき後続車に追突される。
- ③ 道路左前方の民家から出て来た人を見落とし衝突する。

#### ●渋滞車列の間からの横断者を予測する

- ・対向車の間から歩行者や自転車が横断してくる危険があります。漫然と運転していると、横断に気づくのが遅れて衝突する危険があります。
- ・対向車の間からの横断者、とくに横断歩道を渡ってくる歩行者等を警戒し、いつでも止まることができるスピードで走行しましょう。

#### ●後続車や民家からの飛出しにも注意する

- ・横断者に驚いて急ブレーキを踏むと、後続車に追突されるおそれがあります。また、対向車線側に注意を向けすぎると、左側の民家から歩行者が飛び出してくれれば避けられません。
- ・前後左右に注意の目を向け、後続車からの追突、民家からの歩行者の飛出しに備えましょう。

# こんな自転車に注意しよう

自転車は手軽に利用できる反面、交通ルールやマナーを軽視する利用者が少なくありません。多発する自転車との事故を防ぐために、どのような自転車に注意を払うべきかを頭に入れ、自転車の次の行動を予測した運転を心がけましょう。

## ● スマホに夢中の自転車



### ● 注意ポイント!

スマホや携帯電話で通話等をしながら自転車を運転している人は、周りに対する注意を欠いているため、左右の安全を確認しないで交差点に進入してくることがあるので、その動静に注意しましょう。

## ● 発見が遅れる無灯火自転車

### ● 注意ポイント!

無灯火の自転車は、直近まで近づかないと発見できないことがあります。先行車や対向車がないときは、ライトを上向きにして、早めの発見に努めましょう。



## ●不安定な傘さし自転車



### 注意ポイント!

傘をさした自転車は走行が不安定で、周囲への安全確認も十分にできないことがあります。傘をさした自転車とは十分な間隔をとって走行しましょう。

## ●高齢者の自転車



### 注意ポイント!

高齢者の自転車は、急な横断やふらつきなどの危険な行動が見られることがあります。高齢者の自転車を見つけた場合は進路を譲ったり、動静に注意を払いましょう。

# 交差点右折時に対向一輪車と衝突

## 事故の発生概要

### ◆発生日時

4月某日午後9時ごろ

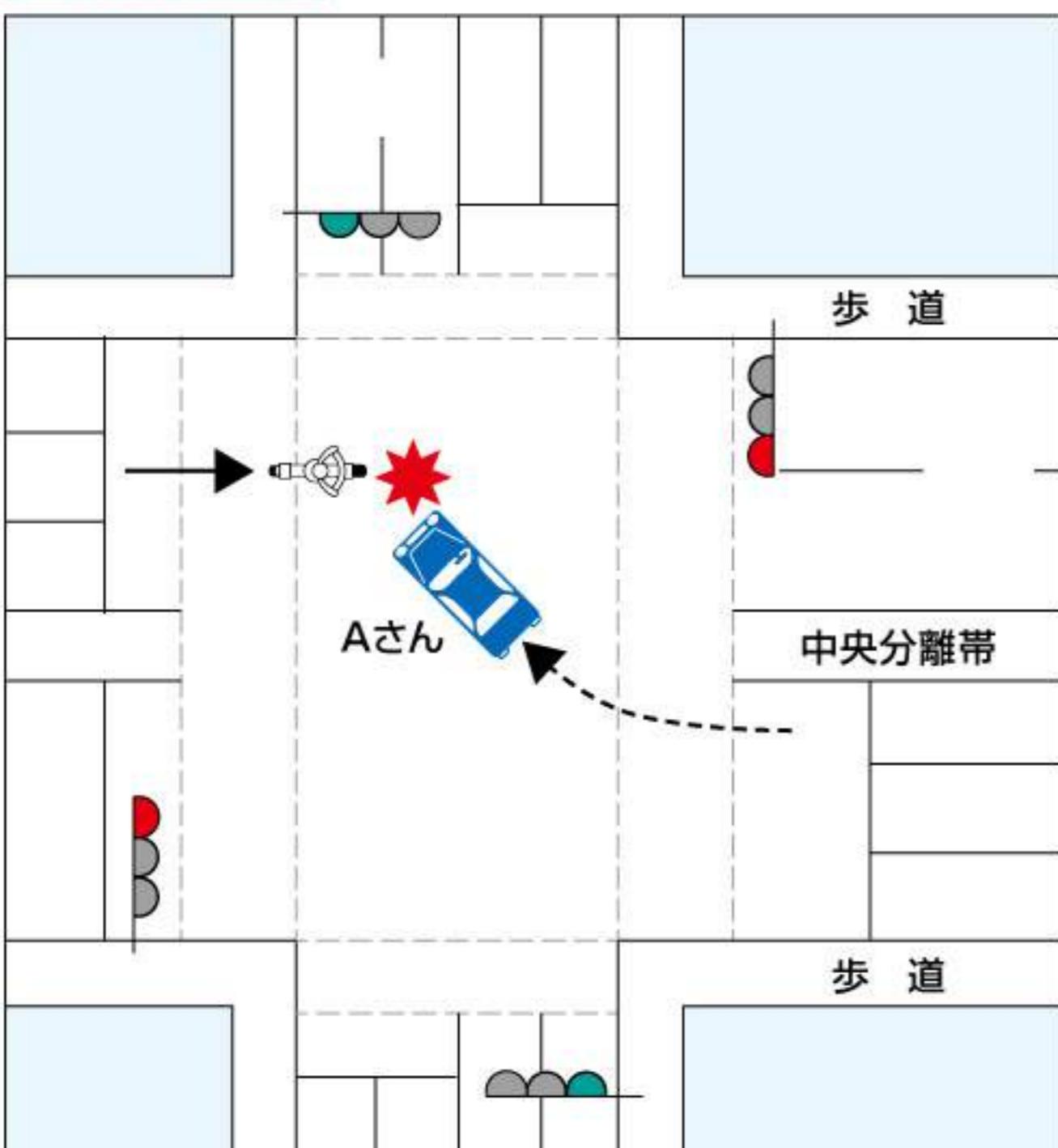
### ◆発生場所

片側2車線道路の信号交差点

### ◆事故状況

Aさんは、夜間、得意先から会社に戻る途中、信号交差点を右折しようとしたところ、対向車線を二輪車が接近しているこ

事故現場図



とに気づきました。

Aさんは早く帰りたいという気持ちがあり、対向車をちらつと見ただけで「二輪車は遠くにいるので、先に右折できる」と思い、一気に右折を始めましたが、二輪車はAさんが思った以上にスピードが出ており、アツと思ったときは二輪車と衝突していました。

## 事故の原因と防止策を探る

### ●二輪車との距離、スピードを見誤った

この事故の原因の一つには、Aさんが二輪車との距離や速度を見誤ったことが挙げられます。

二輪車は車体が小さいため、距離やスピードを正しく判断することが難しいのです。そのため、二輪車はまだ遠くにいるしスピードも速くないから、二輪車よりも先に右折できると判断することがあります。とくに夜間は、二輪車のヘッドライトが光るだけなので、なおさら遠くにいるように感じられて、判断を誤りやすくなります。

にもかかわらず、Aさんは対向車線の二輪車をちらつと見ただけで、「先に右折できるだろう」と判断して、一気に右折をしましたことが事故に結びつきました。

もし、Aさんが二輪車を確認した時点で、二輪車の動静を十分に確認していれば、このような判断ミスを下さなかつたものと思われます。

### ●「急ぎの心理」が事故の背景にあつた

Aさんが二輪車が来る前に右折できると判断した背景には、

早く帰社したいという急ぎの心理があつたものと思われます。

急ぎの心理に陥るとスピードを出したり、一時停止を無視するといった危険な運転をしがちです。

Aさんも、急ぎの心理に陥り、二輪車との距離やスピードを自分の都合のよいように判断したのかもしれません。Aさんとしては、最悪の事態（事故）を予測し、二輪車が通過してから余裕をもって右折するべきでした。

### ●夜間の交通閑散に気を許した

夜間、とくに深夜になると交通量が少なくなることから、漫然と運転したり、安全確認を怠るドライバーがいます。

しかし、夜間は視認力が低下することから危険を見落したり、昼間以上にスピードを出して運転するドライバーが少なくありません。夜間は交通量が少ないと油断することなく、昼間以上に注意力を高めて慎重に運転しましょう。

## 対二輪車事故防止のポイント

### 対向車の死角から飛び出す二輪車をチェックする



渋滞している交差点で、対向車に進路を譲られ右折するとき、対向車の死角を走ってくる二輪車を見落として事故になるケースがあります。

対向車に進路を譲られたとしても一気に右折せず、対向車の死角の安全を確認してから右折しましょう。

### 左折時に、左後方の二輪車を見逃さない

交差点左折時に、左後方を走行する二輪車と衝突する事故が多くなっています。二輪車は左ミラーの死角に入ることがあり、ミラーだけを見て、二輪車がないと判断しないことです。

左折するときには、ミラーだけに頼らず、目視でも左後方の安全を確認しましょう。



### 進路変更してくる二輪車を予測する



左端を走ることが多い二輪車は、前方の駐車車両を避けるために進路変更をしてくることがあります。

前方に二輪車が走行しているときは、その前方に目を向けて二輪車の進路変更を予測しましょう。